



“復興の人間科学 2021”

『福島原発事故10年の経験から学ぶ』

—当時小学生だった若者達との対話から—

Lessons from 10 years of experience after the Fukushima nuclear accident: From the dialogue between young victims and researchers



ZOOM参加の方は
こちらから申し込み
<https://431279.com/>



【ご挨拶】 10:00~10:10

原原 淳（早稲田大学教授・人間総合研究センター所長）
平田 修三（シンポジウム実行委員長、仙台青葉学院短期大学講師）

【第1部. 被災当事者学生による講演】 10:10~13:00

- 被災当事者学生5名（双葉町・福島市・郡山市・いわき市出身）による講演：「原発事故10年の経験/いま考えること」
- 早稲田大学人間科学部学生による発表：「被災当事者学生へのインタビューを通して学んだこと」
- 研究者5名によるコメント（臨床心理学・社会心理学・建築環境心理学・行動医学・社会福祉学の立場から）

【第2部. 基調講演】 14:00~15:00

『現在大学生になる被災当事者との対話から私たちは何が学べるか』

金養 清（関西学院大学社会学部教授、災害社会学・環境社会学）

【第3部. パネルディスカッション】 15:10~16:40

被災当事者学生5名と金養清・萩原裕子とのクロストーク

- 原発事故10年の経験の意味・意義を考える
- ポスト3.11・ポストコロナの日本・国際社会のあり方考える
- 若者達による提言

【第4部. 講演】 16:50~17:30

『被災当事者の語りに耳を傾け学ぶことの意義』

萩原 裕子（震災支援ネットワーク埼玉SSN・心理相談チーム代表）

【第5部. シンポジウムのまとめ】 17:30~18:00

根ヶ山 光一（早稲田大学名誉教授、発達行動学）
猪股 正（震災支援ネットワーク埼玉SSN代表、弁護士）
辻内 琢也（シンポジウム大会長、早稲田大学教授、
早稲田大学災害復興医療人類学研究所所長）

2021年11月28日(日)10時~18時(無料・入場自由)

於：早稲田大学大隈記念講堂(地下1階)小講堂

Zoom同時開催(zoom参加の場合ネット申し込み制)

- ◆主催：早稲田大学人間総合研究センター
- ◆共催：震災支援ネットワーク埼玉(SSN)、早稲田大学災害復興医療人類学研究所(WIMA)
- ◆研究費基盤研究(B)：原発事故被災者の移住・帰還・避難継続における新たな居住福祉に関する人間科学的研究
- ◆問合せ先(WIMA研究所事務局：社内研究室内)：〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15
(シンポジウム事務局長・金 智恵) E-mail: shinsai-wima@list.waseda.jp
(震災支援ネットワーク埼玉SSN事務局長・雙甲 裕) E-mail: desk@431279.com

□□□2021□11□28□□□□10□□18□

□□□□□□□□

10/14

10/14

▶

▶

NPO WILL

▶

